

### 心に残る体験学習

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大のためさまざまな行事が中止あるいは縮小されました。修学旅行や宿泊体験学習もその中の一つで、各学年の生徒たちにとって最も思い出に残る行事であり残念でした。しかし、感染拡大防止に留意する中で、職員・生徒で工夫し合い心に残る体験学習を実施しました。各学年で実施した体験学習の一部を紹介します。

#### 1年生 ▶ グリーンベルト活動

学校に隣接する土岐津町の森で、樹林整備活動を行いました。この活動は平成18年度から続いている活動ですが、今年はコロナ対策のため活動を縮小して行いました。初めにVTRで森林の働きや樹林整備の意義を学び、森の中で木を観察し、整備作業の体験をしました。



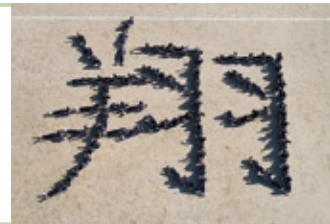
#### 2年生 ▶ 思い出づくり遠足と職業講話

陶史の森へ学年遠足をしました。ゲームやゴミ拾いなど活動内容の計画やお弁当の手配を自分たちで行いました。また、職業講話では、4つの職業から興味のある職種を2つ選び、仕事の内容・厳しさ・やりがいなどの講話を聴きました。今後の進路選択の役に立えます。



#### 3年生 ▶ 人文字づくりとテーブルマナー教室

学級ごとに考えた「炎」「彩」「宙」の人文字をつくり、上空からドローンで撮影しました。最後に学年全員で「翔」を作りました。この様子を卒業アルバムに載せました。また、結婚式場で学級ごとにテーブルマナー教室を体験しました。修学旅行には及びませんが、思い出に残る体験となりました。



### 目指せ全国入賞

はやし みづき  
下石小学校6年 林美月さん

小学校1年生の時から習い始めた空手で、4年生の時から3回連続でJKJO全日本ジュニア空手道選手権大会に出場している下石小学校の林美月さん。

1年生の時、テレビで見た空手の試合で女性選手が高々と上段蹴りを決める姿にあこがれて空手を始めました。3年生から心流空手道連盟和田道場に入門し、型よりも実践的なフルコンタクト空手の稽古に、週2回汗を流します。柔軟・体幹トレーニング・型・ミット打ち・組み手と充実のメニューをこなし、気合十分。

得意技は、相手の頭をかかとで引っ掛け蹴る「上段掛け蹴り」。持ち前の体の柔らかさを強みにして、果敢に挑戦しています。相手から強い攻撃を受けることもあり、時にはケガをすることも。それでもあきらめずに練習を続けるのは、「試合で勝ったときが何よりもうれしいから」と力強く語ってくれました。道場の練習時間以外でも、家での筋トレや体幹トレーニングは毎日欠かしません。全国大会で勝ち進む目標に向かって、練習の日々は続きます。